

第3回橋梁模型コンテスト四国大会に協賛

1. まえがき

工業高校の生徒を対象とした第3回橋梁模型コンテスト四国大会が、平成21年11月28日(土)に高知工業高等学校で開催された。この大会に高知県橋梁会も協賛し、審査員として右城会長と武内理事の二人が出席した。

2. 橋梁模型コンテストとは

支給された材料を用いて橋長1.02m、支間1.0m、幅員0.1mの寸法の橋梁模型を2時間30分以内に製作し、完成度、耐久性(15kgの載荷荷重を1分以上保持できたか)、技術度、構造的性(アイデア)、デザイン性(美しさ)、経済性(載荷荷重/模型重量)、作業態度の7項目について競うものである。

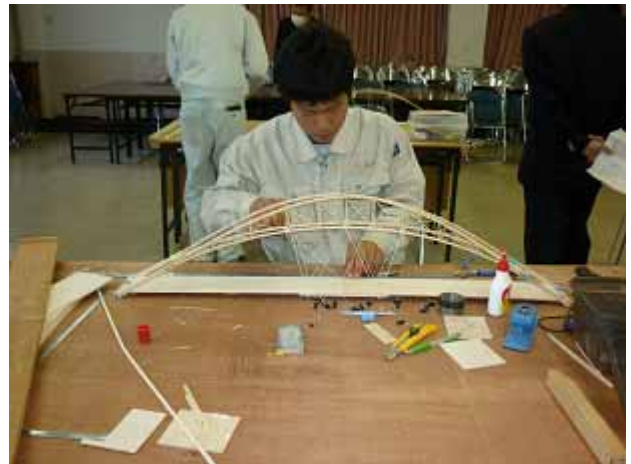
以前は全国大会であったが、平成18年度の第5回が最後になったため、四国高等学校土木教育研究会(会長：平田健一)が主催し、高知県建設系教育協議会(会長：草柳俊二)の後援で昨年度より四国大会が開催されている。3回目となる今回は、高知県橋梁会も後援することになった。

3. 今回のコンテスト

コンテストへの出場者は、高知工業高等学校から藤田明久君と佐野弘治君、宿毛工業高等学校から中平拓治君と永澤祐太君の合計4名であった。



模型の製作風景



2時間30分の製作に集中する高校生



完成した模型を持って載荷試験の前に記念撮影。左から藤田君、中平君、佐野君、永澤君。



中平拓治君の作品は5kgの載荷で微妙な状態。残念ながら6kgで破壊



藤田明久君の作品は、最も軽量であったにも関わらず 17kg の载荷に見事に耐えた。



17kg は楽にクリアするはずであったが、上段アーチ部材と下段アーチ部材を端部で重ねて接着していた箇所が剥がれてしまった。



永澤祐太君の作品は、5kg の载荷による補剛桁のたわみで斜材とアーチ部材の接合がはずれた。



最優秀賞は藤田君、優秀賞は佐野君、努力賞は中平君と永澤君。高知県橋梁会からは、アイデアが素晴らしかった佐野君に賞状と記念品(ボールペン)を高知県橋梁会会長賞としてお渡しした。



佐野弘治君の作品は、デザイン性においてどの審査員も絶賛しており、耐荷力についても最も期待されていた。山岡先生も自信を持って 17kg まで一気に载荷。



最後に記念撮影(清岡先生が撮影)

(文責 右城 猛)